



▲「似てるでしょう」—まつりの一角，似顔絵コーナーで，絵を手にしてにっこり。

ちょうちん七夕フェスティバル

7月30日，小野田駅前で「第14回ちょうちん七夕フェスティバル」が開催されました。祭りは高千帆小マーチングバンドの行進で幕開け。すっかり祭り名物となった『ちんどん屋』が通りを練り歩き，ステージではバンド演奏が行われるなど，駅前は大勢の人で賑わいました。



▲▶春から茎が伸びはじめ大きく成長し，緑がかった黄色い花が咲きました。一度咲くと，その株は枯れてしまうそうです。

アオノリュウゼツラン開花

不動寺原の古川さん宅で，30～60年に一度咲くというアオノリュウゼツランが花を咲かせました。アロエを巨大化したような葉の間から，太い茎が伸びており，その高さは約6メートル。古川克子さんは，「庭に植えた時は，手のひら大程度の小さな株だったんですよ。あれから30数年たちましたが，私も花を見るのは初めて。」と，目を細めていました。



▲織姫と彦星の人形を飾ったものなど，工夫を凝らした笹飾りが七夕の雰囲気盛り上げました。

おのだ七夕まつり

8月7日，小野田サンパーク駐車場で「第2回おのだ七夕まつり」が開催されました。飛び入りも大歓迎だった『ゆかたコンテスト』には，自慢の浴衣を着こなした参加者がステージに登場。レーザー光線とともに花火が打ち上がるショーもあり，多くの人が夏の夜のひとときを楽しみました。



▲川に入り，ひっくり返した石についた生物を調べる参加者たち。

親と子の水辺の教室

8月4日，35人の親子が参加し，「水辺の教室」が開かれました。寝太郎公園ゆめ広場そばにある石束川^{いしつか}で，水生生物を採取した後，きらら交流館に移動して，どんな生物がいるのかをじっくり観察しました。その結果，少し汚い水に住むカワニナやヒラタドROMシが多く見られることなどが判明。参加者は，生物の観察を通して，身近な川の水質など，水環境について理解を深めていました。